



東陽病院内科医師

鈴木 健士

健康ウォッチング

横芝町のみなさんこんにちは。今回は、外来で診察を受ける際に注意していただきたいことについてお話ししたいと思います。

今は一年でも一番寒い季節ですので、風邪などひかないよう充分暖かい服を着てお越しください。(もともと風邪をひいたから病院に行くんだ、という人も多いと思いますが)病院の中は暖房をきかせて暖かくしておりますので診察待ちの間に上着を脱いで少し軽装になってお待ちください。現在、東陽病院では外来は予約診療を行っています。初めて診察を受けられる方や予約以外の日に具合が良くないなどの理由でいらした方は、その予約の枠の合間に診察することになります。そのため受付した順番と呼ばれる順が多少ずれることがあります。ご了承ください。

外来で診察を受ける際に…

診察の際には原則として胸やお腹を診せていただきますので、服装は前を開けやすいものがよいと思います。ボディースーツ、胴巻き、腰ひもなどは避けるようにしてください。また、腰痛用のコルセットなどは中待合に入りましたら、外せましたら外してお待ちください。問診ではどんな症状が、いつから、どんなときにあるのか、時々あるのか、持続的にあるのかなどを簡潔に教えてください。

診察が終わって処方箋が出ましたら薬局の窓口にあります緑色の機械に処方箋を入れてください。引換券が出ますのでそれを持ってお待ちください。その間に予約のある方は総合受付で予約をとってください。医者が渡した予約券はそのままでは予約になりません。受付で事務の者が予約時間を書き込み、はじめて予約完了となりますのでご注意ください。

病院職員もできるだけ速やかに満足の行く医療を提供できるように努力したいと思っております。わからない点などがありましたら遠慮なくお尋ねくださいますようお願い致します。



宝くじの助成で コミュニティ活動備品を整備

本町区では、このほど平成11年度コミュニティ助成事業を受けて、祭礼用備品とカラオケセットを整備しました。

コミュニティ助成事業は、財団法人自治総合センターが、地域住民のコミュニティ活動の健全な発展と宝くじの普及広報事業を目的として行う事業です。整備された備品は、「宝くじ助成備品」として購入されたものです。

祭礼用としては、祭り半纏や羽織り・鼓・太鼓台・紅白幕・山車腰幕などと、これらを保管する収納庫が。また、老人クラブなどカラオケの練習を通して親睦交流を深めるため、カラオケセットが整備されました。

地域のコミュニティ活動のいっそうの増大が図られるものと思います。

整備された鼓(右)とカラオケセット(下)

